

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）【共創分野】

拠点名称：「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワーメント社会共創拠点



代表機関	東北大学	プロジェクトリーダー	中澤 徹 東北大学 大学院医学系研究科 眼科学分野 教授
参画機関	立命館大学、東京大学、お茶の水女子大学、東北文化学園大学 第一生命保険株式会社、住友商事株式会社、イオン株式会社、ロート製薬株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、フォーネスライフ株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、株式会社QDレーザー、株式会社トプコン、株式会社わかさ生活、参天製薬株式会社、ノバルティス フーマ株式会社、株式会社仙台放送、株式会社Lively Up、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社日本眼科医療センター、株式会社トーメーコーポレーション、ジャパンソウル半導体株式会社、株式会社トラストメディカル、日東メディック株式会社、わかもと製薬株式会社、興和株式会社、株式会社クリュートメディアカルシステムズ、株式会社ハウディ、千寿製薬株式会社、エレコム株式会社、あっと株式会社、公益社団法人NEXT VISION、株式会社GameWith、Vixion株式会社、オムロンサイニックス株式会社、富谷市、仙台市、宮城県、東日本旅客鉄道株式会社		

プロジェクトの概要

10~20年後の未来のありたい社会像は、「次世代の子供たちに誇れる、誰もが人生のどのステージでも、共に暮らし、働き、遊べることで、主体的に生き生きと暮らせる社会」である。我々は世界でも類のない「みえる」からはじまるエンパワーメントを特徴とした学際的なアプローチにより、グローバルな社会課題を世界に先駆けて解決しながら社会変革を推進していく。それにより、「みえる」を起点に様々な人の課題も解決する。具体的には、①視覚障がい者がテクノロジーなどを介して「みえる」ようになることで、自立して社会貢献し、QOLを高め人と社会とつながる、②病気になるリスクを有する健常人が、普段気付かない不調や悪化の兆候等が「みえる」ようになることで、将来の疾患を未然に防いでQOLを維持し、人と社会がつながる、③不調が原因で行動制限がかかる人が、行動変容の継続に必要なことが「みえる」ようになることで、自己のモチベーション向上と他者とのコミュニケーション促進を通じてQOLを高め、社会とつながる。このようにして、「みえる」からはじまるエンパワーメントは、誰に対しても外界・社会からの情報を最適に取得・活用することを可能とし、人のつながりと自己実現を達成させてダイバーシティにあふれるインクルージョンを踏まえた、新たな社会を創造する最適解であると我々は考えている。

【ターゲット】

(a) ターゲット1：「できない」「できる」にする情報格差ゼロ社会の設計

情報格差ゼロ社会の設計を通じて、すべての人が受益者となるインクルーシブ・ユニバーサルな社会への変容を実現する

(b) ターゲット2：目から全身の健康を管理する「みらいをなおすヘルスケア」の確立

疾患を未然に防ぎ、フレイル（虚弱・脆弱性）から遠ざけ、「どうしてもっと早く気付けなかつたのか」と後悔する人がいなくなる仕組みを社会に実装する

(c) ターゲット3：身体機能拡張による自己実現とコミュニケーション変革

エビデンスに基づいた効果的な動機付けを通じて、すべての人のモチベーション向上・コミュニケーション促進につながる、主体的な行動変容を起こす仕掛けを社会に実装する

